平成27年3月1日発行　発行人　済生会貴船福祉ケアセンター　所長　門野　秀隆　編集　広報委員会

Vol.58

ふくふくだより

新年の抱負

済生会貴船福祉ケアセンター
所長　門野　秀隆

皆様、明けましておめでとうございます。さて、済生会貴船福祉ケアセンターは開設以来十年目を迎えます。伝統ある特養、新たに開設したショートステイ、デイサービス、居宅介護支援、訪問介護、訪問看護の各事業所は、この間着実に実績を積み上げ、地域に必要な存在となっています。これも多くのボランティアの皆様のご協力による賜物です。厚くお礼申し上げます。とくに貴船町の皆様には「火災等災害時応援協定」を結ぶ等ご協力を頂き、厚くお礼申しあげます。ボランティアの皆様及び地域の皆様には、これからも当センターのご支援をお願い申し上げます。私たち職員一同は、皆様の期待に応えられるよう研鑽し、介護サービスの質の向上に努め、「済生会」により一層の信頼を頂けるよう頑張ります。

当センターの歩みを三段跳びに例えますと、初期の十年は「ホップ」の期間。これからの十年は「ステップ」の期間とし、次の「ジャンプ（飛躍）」に向け着実に力を蓄えていく期間として位置付けたいと思います。

今年の干支は「未（ひつじ）」であります。未は家族安泰、豊穣の象徴です。皆様に。実りの多い穏やかな年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

忌宮神社へ初詣　みんなで記念撮影

職員・ボランティア様と玄関前で記念様影

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 山口県済生会
済生会貴船福祉ケアセンター

ホームページアドレス　http://www.kifuneen.saiseikai.or.jp

●特別養護老人ホーム　貴船園
TEL (083)223-0261 FAX (083)223-0271

●貴船園ショートステイ
TEL (083)223-0261 FAX (083)223-0271

●貴船園デイサービスセンター
TEL (083)223-0265 FAX (083)223-0271

●貴船園ヘルパーステーション
TEL (083)223-0263 FAX (083)223-0276

●貴船園居宅介護支援事業所
TEL (083)223-0275 FAX (083)223-0276

●貴船園訪問看護ステーション
TEL (083)223-0262 FAX (083)223-0276

基本理念

「救療済生」の精神に基づき、心のかよう質の高い福祉を提供します

基本方針

1 利用者の意思や人格を尊重し、利用者の立場に立った福祉サービスを提供します

2 明るい笑顔と誠実な態度で接し、利用者や家族が住みなれた地域の中で、安心して生活できるよう支援します

3 一人ひとりが専門職としての倫理と誇りを持ち、常に知識・技術の向上のため研鑽に努めます

4 地域社会との連携を図り、地域とともに歩む施設を目指します

ボランティアの皆様に支えられています

平成26年度の行事も地域・ボランティアの皆様のご協力により無事終えることができました。誕生会では地域でご活躍されている団体による歌や舞踊、楽器演奏などで盛り上げて頂きました。移動介助登録ボランティア様には入居者様に優しく寄り添って行事を支えて頂きました。心より感謝申し上げます。平成２７年度も引き続きよろしくお願い致します。

毎年3月誕生会 恒例

「豊華会」様

「貴船園の誕生会にお伺いして」

豊華会　代表　羽仁輝子様

舞踊豊華会と申します。私達は『踊って心に灯りを。踊りの輪を人の和に』をモットーとして貴船園に来させて頂いて二十年になります。貴船園の移り変わりを、私達の年輪として頑張らせて頂いております。

貴船園に初めてお伺いした頃を思い出しますと、未熟で皆さんの前にでることが恥ずかしくてドキドキしながら踊らせて頂きました。こんな私達を温かく見守って下さり一緒に手拍子して下さり一緒に踊って下さいました。会員一同うれしくて涙の出る思いでした。私達は貴船園の皆さんに育てて頂いたと思っております。

こんな私達ですが、少しでも人様のお役に立てさせて頂きたいと、地域の文化祭又下関芸能祭などにも参加又ボランティアでいろいろな所に行かせて頂いております。これも貴船園の入所者の方々の、あの温かいご声援があったからだと思わせて頂いております。毎年三月にお伺いさせて頂く事を会員一同楽しみにして日々皆で頑張っております。

まだまだ未熟者ばかりですが皆さんに少しでも楽しんで頂けるようにと心から願っております。これからも私達の身体の続く限りお伺いさせて頂きたいと思っております。これからもどうぞよろしくお願い致します。

毎年12月誕生会 恒例

「ひまわり一座」様

「明日に向かってひまわり一座」

ひまわり一座　代表　西田麗子様

「貴船園の皆様こんにちは」内日の里よりまいっております「ひまわり一座」でございます。女性ばかりで結成した「ひまわり一座」も早や８年の月日が流れ年末のお誕生日会におじゃました時、皆様の笑顔と拍手に出逢い感謝の気持ちでいっぱいです。私達は殆どが農家の嫁です。農作業の合間のつかの間のストレス解消の場であり、仲間との繋がりの中で明るい輪が広がり明日への活力となるのです。「カラオケ」「踊り」「皿回し」「お手玉」「琴演奏」「コーラス」「デュエット」のバラエティーショーでお楽しみ下さいませ。

私達のモットーは「明るく、楽しく、元気よく」いくつになっても体の続く限り、皆様と共に楽しい希望あふれる「ひまわり一座」を目指しております。最後になりましたが、「貴船園」の皆々様の益々の御発展と健康と御多幸をいつも祈っています。また、「うついの里、にこにこ市場」にも遊びにいらっしゃいませ。お待ち致しております。

「折り紙クラブ」

「笑顔と共に」

おりがみ講師　石津　直美様

月に一度、おりがみクラブで講師をさせていただいて、今年で十九年目になります。毎月「何を折ろうかな。」と考えるのがとても楽しみです。お年寄りの皆さんが楽しめて、簡単で、出来栄えがいいものをといろいろ工夫して毎月取り組んでいます。模造紙２枚を貼り付けた大きさの紙に、お年寄りに皆さんが折った折紙を貼り付けて、季節感を大切にした作品に仕上げていきます。折紙を折る回数は３回から５回くらいで出来上がるように心がけて考えています。

そして、私の考える折紙には、いつもクレパスで顔を描いていただいています。お年寄りの皆さん一人ひとりがゆっくりと、じっくりとご自分によく似た表情をお書きになるのがとても温かい気持ちになります。ちゃんと折れるとか、角が合っているとかは大事ではなくて、参加されているお年寄りの皆さんが笑顔で「楽しかったまた参加してみよう。」と思ってくださることを大切にしていき、共に喜びたいと思っています。また、大人のボランティアの方々が、連れ出しや、折ること作ることへの補助もしていただきながら、楽しいひと時となっているのだと感謝しています。

おりがみクラブの終わりに、その季節にあった歌を歌います。昔から歌われている童謡や唱歌などを手拍子と共に声高らかに出来上がった作品を見ながら歌っています。お年寄りに皆さんの笑顔と共にひと時が過ぎていくことを心から嬉しく思います。出来上がった作品は、職員室の廊下の壁に飾っています。どうぞ、折紙一つ一つをご覧下さい。いろんな人が笑顔と共に生きられる。そんな毎日を大切にしていきたいと思っています。

「移動介助登録ボランティア」様

運動会のパン食い競争に参加

「本当に踊りはいいものよ」

かめだ
亀田　ゆき様　96歳

セピア色の風景

今回のセピア色の風景、主役は踊りの大好きな亀田ゆき様。インタビューにも軽快な口調で答えてくださいました。

18歳ぐらいから東京でお踊りを教わって50歳ごろから人に踊りを教えていたね。先生は若柳流の家元若柳吉三郎先生です。昔は先生たちが厳しくてね、いつでも長い竹をもってね、間違った姿勢をとったときは叩かれたよ。しなやかな竹でバーンってね。痛くはなかったけどね。踊りは身体で覚えたね。

先生がね、言いよったよ。見込みがあるから教えるんだって。見込みがなかったら怒らんってね。教えるつもりがなければ月謝だけもらっとけばいいんだもんね。

座り方から怒られるもん。姿勢でね。バーンて叩かれるもん。最後は物差しを胸のところに入れられてね。下を向くと顎に刺さって痛いの。

踊りを覚えた後、はじめは個人で教えていたんだけどね。福祉センターで先生をしないかと声をかけられるきっかけがあってね。ある踊りの発表会のときによその先生が見て「奥さん踊られますか？」って言うんで「踊りますよ」って答えたら「うちは先生がいないんでやってください」って言うことで「じゃあ」となったんよ。

その方は元役者で福祉センターで教えてたらしいんだけど、お芝居の役者だから普通の踊りは教えられんということで、私に声をかけたんだって。

どんな踊りを踊ってたかって?昔の旧舞踊（三味線の踊り)からだんだんと新舞踊になったね。ちょっと音楽を変えて「別れのブルース」とかに合わせて踊るの。みんなが踊りやすいでしょ。昔の踊りは難しいから。旧舞踊は頭・肩・膝・腰でしょ?新舞踊はそんなにいらない。まあスタイル良くと。とりあえずかっこよく踊れればいいのよ。

昔は娯楽がないからね。踊りが凄く流行ったの。みんなが勝手にテープを持ってくるの。「先生これ振り付けて、振り付けて」って。それだからみんなが踊りやすいように振り付けてあげるの。

でも80になってからやめたの。形がとれない。踊りはどうしても形でしょ。私がびっこ引くとおんなじように皆がびっこひくの。「あんたなんていう格好をするの」と言ったら「先生があんなにしてるから」と。これじゃあもうと辞めたの。

昔は貴船園に慰問に来てたのよ。だからここでお世話になることになるとは思わなかったの。久しぶりにお世話になったら建物が立派になってビックリしたよ。

毎年夏祭りの時に踊りに来よったよ。下関音頭をみんなで輪になって踊ったね。音頭はいいね。皆が踊れるから。喜んでもらったもの。
踊りは楽しいの。喧嘩しとってもね知らん間に仲直りしてる。踊ってるうちに振り付けがわからなくなるけど、どうやって踊るのか話し合ってるうちに、いつの間にか仲直りしてるの。ほんとに踊りはいいものよ。」

三味線の音楽聞くと今でも体が反応するという亀田ゆき様。インタビュー中、「夏祭りの時は何か披露しようかしら」と早くも来年の夏祭りのお話まで飛び出しました。いつも姿勢よく凛としていらっしゃいます。

心は今も踊りを始めた少女の頃のまま、変わらない熱意を持って踊りに向き合っていらっしゃるようです。

魅力的な踊りの世界…。演芸会や夏祭り、皆様も一緒になって踊ってみませんか？

（特別養護老人ホーム介護職員　田村香南子）

給食だより

私たち調理室は管理栄養士１名、栄養士１名、調理員7名、調理員パート7名、洗浄パート3名の19名が在籍しています。様々な年齢層がいることで話題も豊富で、毎日笑顔の絶えない調理場です。
朝・昼・夕と入居者の皆様の食事を旬の食材を存分に使って、目で見ても食べても美味しい料理を目指して、365日みんなで奮闘しています。朝と夕は約110食、昼はデイサービスを含め約140食を作っています。
今回はこんな調理室をご紹介致します。

①

新鮮な野菜・魚・肉の納入後、下処理室で使用分のキロ数を計り、野菜の皮を剥いたりと下処理を行います。

②

野菜の切り込み作業を行ないます。皆さんが食べやすいように意見を出し合いながら料理に合わせて切り方を工夫しています。

③

大きな回転釜は煮物や炒め物など幅広い料理に使います。調理員は、顔を真っ赤にしながら料理をしています。

④

一度に3キロから4キロのお米を炊くので、炊飯器は大きなものを使用しています。釜を開けると、炊き立てのご飯の良い香りが漂います。

⑤

出来上がった料理は、盛り付け台で迅速・丁寧に盛り付けします。どうしたら美味しく食欲の湧くような盛り付ができるか、日々話し合いながら工夫しています。

⑥

食器を洗う洗浄室という部屋があります。一年中暑さとの戦いの中、パートさんが気持ちの良い挨拶と、元気な笑顔で働いています。

⑦

配膳が整うと、いよいよ皆さんのところにお食事が届きます。栄養士、調理師が各フロアまで運んでいます。時にはお食事の支援をさせていただいたり、お話をしながら食事に関することから日常のことまでいろんなことをお話しています。食事の形態は、常食・やわらか食1・やわらか食2・とろみ食と一人ひとりの咀嚼・嚥下機能に合わせた物を提供しています。年々介護度が上がり、それに伴ってソフト食の必要性が高まっています。

クリスマスメニュー
（普通食）

クリスマスメニュー
（とろみ食）

（管理栄養士　原絵利子）

デイサービスだより

　デイサービスでは毎月の工作を利用者様と一緒に作って掲示をさせていただいています。折ることが得意な方、はさみ等で切るのが得意な方などおられるので得意な分野で作業分担をして1つの作品を作り上げています。
　デイサービス利用のときに、工作の道具を持参され作られている方もおられます。銀紙を折った物を組み合わせた白鳥や、壁に取り付ける暖簾の飾りなどを作られています。
　工作を行い手を動かす事で認知症の予防や、季節のものを取り入れた工作を行い、季節を感じてもらえるように工夫しています。　　（デイサービス介護職員　岡崎歩）

カラオケボランティア様とカラオケを楽しんでいます！

はまゆう会様による三味線・尺八演奏

コスモスの壁画

ホアロハ様によるフラダンス

すすきの会様による三味線演奏

バースデイケーキ作成中

節分の壁画作り

作品の前で記念撮影

ヘルパーステーションだより

村上様、いつも献立を一緒に考えて下さり有難うございます。「今日は何にしようかな。」とヘルパーに気を遣いながらその日の体調や気分を伝えて下さり大変助かっています。
訪問介護の中でも最も難しいのが生活援助のひとつでもある食事作りです。身体状況や介護のやり方などはある面でマニュアルができ、やればやるほどなれて上手になっていくことができます。しかし、食事作りの援助は、個々の好みやこだわりなどの習慣があり、また一人ひとり違うので、マニュアル化ができないのです。ヘルパーは栄養面に気を配りながら、利用者様のこだわりを大切にしつつ毎日の食事を提供しています。
これからも、その日の村上様の体調や意見、ご要望をお聞きしながら在宅生活を支えていきたいと思っています。
（ヘルパーステーション　岡山悦子）

ヘルパーさんと食事　死闘の一年半

村上　潔様

家内の料理以外は殆ど食べなかった私、先立たれてからは正に茫然自失どうすべきか全く分からない、ヘルパーさんの食事に砂を噛む思いで食べる、味が殆どわからない食べ残しが多い。「何か食べたいものは？」尋ねられても返事が出来ない。この年齢になってこんな状況になろうとは想像すらできないことであった。正直なところ絶食して生命を縮めることさえ、瞬間的には考えもしました。
自分を一角の人間と惚れた傲慢さから完全な自己否定に陥りそうになりました。それでも施行錯誤を繰り返しながら努力しているうちに一年位経ってのこと、ヘルパーさんの料理研究の成果でしょうか少しずつ食べられるようになり感謝と嬉しさで一杯でした。私には今迄の人生経験とは全く異質の命がけの闘いでした。残念ながら未だに迷いはあるものの、これで何とか立ち直り人生の終末を全うしたいものと健闘中です。

いつもご利用ありがとうございます。

登録ヘルパーと村上様

登録ヘルパーから「感謝の言葉」

いつも「おいしく頂ました。」と優しい笑顔と気遣いの言葉、本当に感謝しています。豊富な人生経験の話暖かい接し方は本当に勉強になります。少しずつですがお料理上達していくよう努力していきます。　（肱岡ヘルパー）

「食が細く今日の食欲はどうかな？」と思いながら訪問しています。一口でも多く召し上がってくださいネ。　（太田ヘルパー）

いつも感謝とお褒めの言葉ありがとうございます。末永くご自宅で過ごせますように。　（田村ヘルパー）

居宅介護支援事業所だより

平成20年５月から貴船園居宅サービスをご利用者のA様よりご意見を頂きました。居宅介護支援事業所（介護支援専門員）について思うことを聞いてみました。
（介護支援専門員　山本里沙）

快くインタビューに答えて下さったA様。先日、お亡くなりになられました。ご逝去を悼み、謹んでお悔やみ申しあげますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

率直に「便利な存在ですよ（笑）。助かっています。」
私は要介護５の妻と二人暮らしです。私も介護１で十分に妻の援助はできません。妻はパーキンソンの病気があり、これがかなり厄介なんです。病状から動ける時とそうでない時の差がひどくて私だけではとてもどうにもできません。以前は本当に困り果てた事もありましたが今はようやく落ち着いてヘルパーさん、看護師さん、息子に助けてもらって生活が回っています。それでも介護保険ではできない事もたくさんあり困ってしまう事が多々。不満が無いとはいいません。でも私たち夫婦は自宅で今後もずっとずっと生活がしたいです。その気持ちを理解し、助ける仕事という感じでしょうか。私たちの生活が困って、回っていない様子があれば、みんなを集めて、私たちが自宅で今後も生活ができるように考えるそんな存在です。

貴船園　行事の風景

貴船園運動会

ショピング

ご家族と一緒に
野外食

みかん狩り

生花クラブ

第一幼稚園来園

職員忘年会

文化祭
フリーマーケット

長府庭園
紅葉見学

餅つき

クリスマス会

行事予定

3月13日（金） 誕生会・演芸会	4月　3日（金） 花見（戦場ヶ原公園）	4月24日（金） 演芸会（紘照会）	5月21日（木） 折り紙クラブ	6月　5日（金） 誕生会
3月16日（月） 物故者慰霊祭	4月13日（月） 誕生会	5月　8日（金） 誕生会	5月22日（金） 生花クラブ	6月12日（金） 演芸会（はまゆうコーラス）
3月26日（木） ボランティア懇談会	4月23日（木） 折り紙クラブ	5月15日（金） 玉ねぎ収穫	5月26日（火） 第一幼稚園来所	6月18日（木） 第一幼稚園来所
	4月24日（金） 生花クラブ	5月20日（水） 演芸会（老人大学）	6月　4日（木） 芋植え	6月25日（木） 折り紙クラブ

編集後記

医療･福祉･介護職は、知識、経験、スキルが求められ、大変な仕事でもありますが、誇りを持って働けるやりがいのある仕事です。その実践力は日々の積み重ねだとつくづく思います。今後も、研修や資格取得など自己研鑽していくとともに、利用者様が体だけではなく心も元気になれるような環境作りを目指していきます。

貴船福祉ケアセンター広報委員会